

「博士・修士渡航助成」事後報告書

広域科学専攻 生命環境科学系 船水研究室 博士3年

31227711 広田 卓

今回私は本助成金を受け、2024年6月1日から19日にかけてルーマニア（トランシルヴァニア）で開催された Transylvanian Experimental Neuroscience Summer School (TENSS) 2024 (<https://www.tenss.ro/>) に参加した。本サマースクールの目的は、げっ歯類の行動実験手法および計測技術・解析手法の基礎から応用まで幅広く学び、その学習成果を数日ごとに発表することで、各々の研究室で取り組む研究のレベルを向上させることであった。また、サマースクール期間中に参加者による自身の研究紹介の時間も設けられており、私自身も約30名の前でチョークトーク形式にて発表を行い、幅広い分野の方々と議論を交わし、貴重な意見を得ることができた。

約3週間のサマースクールにおいて、前半は広視野顕微鏡や共焦点顕微鏡、二光子顕微鏡といった蛍光顕微鏡の理論や組み立て方法を学び、後半ではマウスの自由行動下中の行動の定量化や電気生理による神経活動計測方法を学んだ（下図参照）。基本的に午前中には世界中から集まった講師の方々による講義がいくつかあり、午後から夜中にかけて計測機器の組み立てや計測、また計測した神経・行動データの解析に取り組んだ。さらに、世界各国から集まる参加者との共同生活も非常に刺激であり、研究に対する多様な視点を学ぶことができたのみならず、食文化や生活様式の違いも3週間という短い期間でありつつも深く知ることができた。

最後に、今回このような貴重な機会をいただけたことに対し、広域科学専攻の助成制度に深く感謝いたします。

